

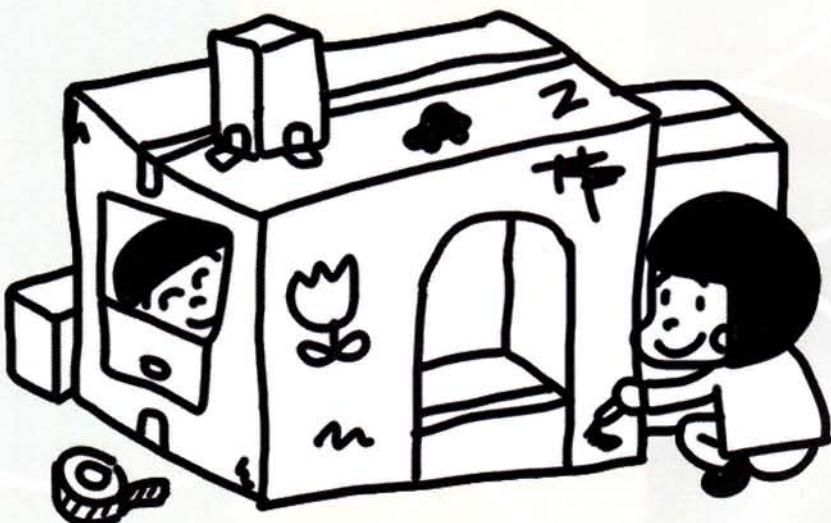
NPO法人みんなダイスキ松山冒険遊び場
 みんなで一緒に
 遊ぼうよ!!
 自然の中で
 とも☆たく通信24号

活動を始めて今年で**10年目**となります。
 今年もフルパワーに子どもたちの育ちを応援していきます！



目次

1 平成27年度の活動報告	03
2 松山総合公園プレーパーク「森とあそぼう」	04
3 子どもの居場所としての駄菓子屋始めます	06
4 久万高原サマーキャンプ2016参加者募集	08
5 昨年開催した「久万高原サマーキャンプ2015」活動の様子	08
6 自分の街でプレーパーク開催しませんか	10
7 山を楽しむ人倍増アンケートの集計報告	12
8 平成28年度会員募集について	14
9 松山総合公園プレーパーク案内地図	15
10 編集後記	15



平成27年度の活動報告

活動内容と平成27年度の実績を載せてています。

プレーパーク

1) 松山総合公園プレーパーク「森とあそぼう」

- ①開催内容：木工広場、滑車を使ったターザンロープ、ロープウェイ、手作りブランコ、秘密基地づくりなど。今年度は「森の中の大きな黒板」「六角形の隠れ家」「鳥かごの隠れ家」を作製。
- ②開催日時：※HP参照 ③開催回数：35回（実績：平成25年度14回開催、平成26年度26回開催）
- ④参加者数：1955人 ⑤開催場所：愛媛県松山市の松山総合公園内、考古館裏の山
- ⑥参加対象者：だれでも参加可能。未就学児は基本的に保護者同伴。

2) 松山市別府市民運動広場開放日「ボール遊びできます！」

- ①開催日時：水曜日又は学校が休みの日の15：30～18：00 ②開催回数：28回 ③参加者数：約600人
- ④開催場所：松山市別府市民運動広場 ⑤参加対象者：参加自由

久万高原サマーキャンプ2015

- ①日時：7月27日～8月1日（5泊6日） ②場所：愛媛県久万高原畠野川の千本高原キャンプ場 ③参加者：9人
- ④内容：5泊6日テントを張り、山や川で遊びながら完全自炊をするキャンプを実施。

森のようちえん

- ①日時：9月27日（日）・10月11日（日）・25日（日）・11月8日（日）・22日（日）・12月13日（日）いずれも9：30～13：00
- ②場所：主に松山市総合公園周辺 ③開催回数：6回 ④参加者数：12組 ⑤参加対象者：2歳～未就学児

出張プレーパーク

1) 中島プレーパーク～中島みらいクラブ～に協力

- ①日時：5月31日（日）、7月5日（日）10：00～16：00 ②開催場所：松山市の中島にある姫ヶ浜海岸近くの公園
- ③延べ参加者数：100人 ④内容：島の子どもたちと松山の親子が参加

2) かしまプレーパーク開催

- ①日時：7月19日（日）10：00～15：00 ②開催場所：松山市北条鹿島
- ③参加者数：200人 ④内容：そうめん流し、竹のブランコ、竹のプール、木工広場

3) 新居浜プレーパーク～おやこdeアソボ～に協力

- ①日時：10月29日（木）、11月23日（金）、12月4日（金）10：00～13：00 ②開催場所：新居浜市市民の森
- ③延べ参加者数：115人 ④内容：新居浜の親子が参加し、森を散歩したり、あかがねミュージアムでのコンサートを開催。

4) 北条プレーパーク～せとうちリュックサック～に協力

- ①日時：11月28日（土）・29日（日）10：00～15：00 ②開催場所：松山市北条立岩川水辺公園
- ③参加者数：150人 ④内容：木工広場や水辺遊びを開催。

5) 出張プレーパーク&被災地支援事業開催

- ①日時：3月10日（木）と3月11日（金）15：00～18：00 ②開催場所：松山市別府市民運動広場
- ③参加者数：50人 ④内容：竹灯籠を作り、ろうそくを灯し、ミニライブを開催し被災地の復興を願いました。

啓発事業

- ①「とも☆たく通信」年2回発行 ②HP、FB、ツイッターにて活動報告 <http://asobiba-matuyama.org/>

東日本復興支援事業

1) 被災地（気仙沼・陸前高田）へ訪問

- ①日時：6月10日～11日 ②訪問先：宮城県気仙沼市本吉町にある「冒険遊び場あそびーばー」の鈴木美和子さん

2) 「ツナガって笑顔をみんなでふやそうYA!!」講演＆トークショー

- ①日時：9月12日（土）13：00～16：00 ②開催場所：砥部文化会館 ③参加者数：143人

3) 「福みかん」事業

- ①日時：1月11日（月・祝）、1月31日（日）、3月6日（日）、3月23日（水） ②開催場所：松山市興居島の御手洗付近
- ③内容：震災後、復興支援のために2012年2月より毎年福島県郡山市の並木幼稚園へ江刺直樹さんが送っている「福みかん」事業を、当団体が引きついで実施。平成28年1月11日に草刈、31日に収穫、3月6日に剪定、3月23日に堆肥を施しました。

他団体とのネットワーク事業

1)まつやま子育て支援NPO協議会としての協働事業

2)日本冒険遊び場づくり協会の四国地域運営委員としての事業

- 6月13日：総会出席（山形での総会に参加し、山形県東根市の取り組みについて学んできました。）

3)松山のNPOとの協働事業

松山総合公園プレーパーク「森とあそぼう」

季節によって変化する虫や鳥の鳴き声を感じながら、子どもの遊びを見守っています。



木の上の隠れ家を子どもたちが中心になって今年の1月から作り始めていました。



子どもが作った下駄です。



飯岡公園時代(※1)からこの活動を始めて早10年。時の経つのは早いものです。お陰様で多くの方々からご支援いただき、松山市からも応援していただき継続的な運営が可能になってきました。そして自然豊かなこの場所で活動を開始して4年目の春を迎えました。

今年からは毎月第2土曜日、日曜日と、第4土曜日、日曜日に松山総合公園プレーパークを開催することになりました。(※7月と8月は開催しません)

このような自然の中で思いっきり遊ぶことができるプレーパークは他にはなかなかありません。それは自然が街の中にもあふれていて、人と人とのぬくもりが残る愛媛だから可能になった事業であると感じています。毎回50人以上の人人が山を登り、プレーパークに遊びに来てくれ、多い時には150人以上の親子連れがやってきます。

子どもの頃に仲間とケンカしたり、一緒に遊んだりする体験が減っている昨今、こうした遊び場は多くの保護者から今、求められていると思います。

それは学校の学びと同じぐらい子どもたちには仲間と思いっきり遊びこむ体験が必要だということに多くの保護者が気づき始めたからではないでしょうか。プレーパークで初めて会って、友達になって、けんかして、泣いて、仲直りして、また遊びだす子どもたちを見ていると、こんな環境がもっともっといろいろなところにあればいいのにといつも思います。

これからも引き続き安全を見守りながらプレーパークを開催しますので、ぜひ遊びに来てください。

※1:平成18年8月より松山市別府町の飯岡公園で開催していた「飯岡公園で遊ぼう!!」は平成24年6月まで約6年開催し、241回実施しました。





手作りロープウェイは高台まで子どもを運びます。



サッカーボール型のジャングルジム完成



ターザンロープはスリル満点！！



ヤマウチコウタさんのミニライブを開催しました。



今後の松山総合公園プレーパークの予定

- ◎開催日 第2第4の土日に開催します。
※7月と8月は開催しません。
- ◎場 所 松山市総合公園内、考古館裏の山
※案内地図はP15に記載しています。
- ◎内 容 竹や木などの自然の素材を利用した「ひみつ基地」作りができたり、ロープや滑車などを利用した遊具で遊ぶスペースがあります。そんな環境の中、子どもたちがチャレンジしてみたいことをスタッフと一緒に考えて応援しています。
(天候等により内容変更有)
- ◎申込み 不要（いつ来てもOK、いつ帰ってもOKです！）
- ◎参加費 無料
- ◎持ち物 長袖・長ズボン・運動靴でお越しください。
夏は水分補給のための水筒、虫よけスプレーを用意して下さい。冬は暖かい恰好でお越しください。
お昼を挟んで遊ばれる方は、お弁当や軽食を用意して下さい。
※山の上にはトイレはありませんので、考古館のトイレを借りて下さい。



子どもの居場所としての駄菓子屋始めます。

子どもたちが気軽に遊びにきてくれる駄菓子屋を始めます。大人も大歓迎です。



■子どもたちの健やかな成長を応援します。 山本 良子



NPO法人みんなダイスキ松山冒険遊び場 理事長。保育士、簿記2級、珠算1級。
1967年、愛知県一宮市生まれ。一宮商業高校卒業後、一宮立石電機勤務。
20歳の時に吉本興業NSC8期生となるが、漫才師になれず、23歳で結婚。
4人の子どもを育てながら活動を開始し、現在は夫と高校2年生の息子と中学3年生の娘と日向(ネコ♀)と生活。プレーパークネーム「ヨッシー」

こんにちは、私は今までの人生の中で、子どもたちが誰かをいじめのターゲットにして遊ぶ姿を何度も見てきました。いじめる側もいじめられる側もそれぞれ家庭にいろいろな悩みを抱えていました。そんな子どもたちの声に耳を傾け、子どもたちがこの地域で健やかに育つ

てくれることを願っています。これからも一期一会の出会いを大切にして、駄菓子屋を続けていきたいと思っています。今後ともどうかよろしくお願ひいたします。

■命の事務所を作りたい。 仙波 光

1987年 東予市（現 西条市）生まれ 香川育ち。高校時代までラボ国際交流に所属。
英検準二級取得、夏休みにアメリカ オハイオ州に1ヶ月ホームステイを経験
高松中央高等学校を卒業後、福岡医療福祉大学に入学、障がい児福祉、人権を専攻、
2014年よりNPO法人みんなダイスキ松山冒険遊び場スタッフとなる。
プレーパークネーム「仙ちゃん」



こんにちは、今回新しく松山冒険遊び場で駄菓子屋の店主をさせていただく仙ちゃんと仙波光です！なぜ今回私は駄菓子屋をやろうと思ったかと言うと、私は福祉大学時代に自殺ときっても切れない若者の事例について研究してきました。そこでそういった方々を救ってあげられるような命の事務所を作りたいと思っていました。昨年末に岡山で開催されたプレーワーカー研修会で「NPO法人ゆめ・まち・ねっと（静岡）」の渡部達也さんがやられている駄菓子屋のお話を聞いてこれだと思ったからです。

この場をお借りしてちょっとだけ大学時代の講義で私が印象に残っているものを話させてください。ある子どもに関する講義でインドの子ども達の現状についてのビデオを見ました。その中に出てる女の子は学校には行けず、出稼ぎに出ているお父さんとお母さんの代わりに幼い弟や妹の面倒を見て幸せを感じる子どもがいることを知って驚きました！

私は高校時代まで同級生からいじめを受けていました。その時に何度も「俺なんかがいちゃダメなんだ、俺が死んだらみんなが喜ぶだから死んでやろう！」と思いました。でも大学時代にインドの女の子のことを知って私は甘かったと思いました。私もそうでしたが、最近の若者はすぐ自分が上手くいかなかったら自殺の方に駆け込みます。今がちょうど人生の中で一番苦しい時間とは

考えにくいんですよね。だからこそ大学時代に子どもたちに命の大切さを伝えられるような事務所を作りたいと思いました。

私は冒険遊び場と出会って二年ぐらいになります。たくさんの子ども達と山の中で遊んだりボールで遊んだりしました。その中でもたくさんの子ども達の悩みを聞きました。最近の世の中は大人を信じられない子ども達が多いイメージだと思いますが、そうなっているのは子どもの声に耳を傾けない人が多いからではないでしょうか？子ども達は大人に対してウザいという子もありますが、そういう子ほど「Help」を出したいけど出せない子ではないでしょうか？これから私は駄菓子屋でそういう子ども達の声を聞いていきたいと思います。いろんな方々に愛していただけるような駄菓子屋を素晴らしい仲間達と共に作っていきたいと思うので今後とも、ご支援のほどよろしくお願ひいたします！



久万高原サマーキャンプ2016参加者募集

久万高原町 面河鉄砲石川キャンプ場での5泊6日の自炊型キャンプを開催します。

久万高原でのサマーキャンプを開催するのは今年で2回目となりますが、今年も子どもたち自らの力でテントの設営から運営、毎回の食事を作る自炊型キャンプを計画しています。そしてキャンプ内での活動は子どもたちと共に考えたカリキュラムにより、参加者ひとりひとりの“やってみたい、もっとやりたい”という気持ちに答えるために、自然の中での最大限安全に配慮しながら実施します。また、自然の中での活動には危険を伴うこともありますが、『なぜ危ないのか?』『やったらどうなるのか?』を子どもたちと考えながらプログラムを進めていきます。

人との出会いや、仲間と共に一喜一憂していくプロセスを大切にして事業を実施します。

- 日時 平成28年7月25日(月)～30日(土) 5泊6日
- 場所 久万高原町面河 鉄砲石川キャンプ場
- 集合場所 JR松山駅、久万高原町道の駅
- 参加対象者 小学2年生～中学3年生、25人
- 参加費 28,000円
- 活動内容 食事作り、バーベキュー、ドラム缶風呂体験、川遊び、山探検、面河山岳博物館の学芸員による昆虫観察など
- 申込方法 はがき又はFAX又はメールにて参加を希望するお子様の氏名・性別・学年・保護者氏名・郵便番号・住所・電話番号・応募した理由をご記入の上、お申し込み下さい。

※詳細は団体HPにて確認ください。

■昨年開催した「久万高原サマーキャンプ2015」活動の様子



■1日目：7月27日（月）

11:00にJR松山駅で集合して久万高原町畠野川にある千本高原キャンプ場へ。車の中ではそれぞれのキャンプネームを決めました。初めてのお友達もいたにもかかわらず、いきなりハイテンションの車中でした。到着後は昼食を食べて、テントの設営、かまどの準備をして、夕食作りに取り掛かりました。1日目の夕食は定番のカレーでしたよ！



キャンプ1日目の料理中です。



アカハライモリを発見！

■2日目：7月28日（火）

朝4時に起床。元競歩のオリンピック選手である忠政啓文さんと高野展望台まで登山。朝1番の登山に子どもたちからはブーイング。下山後は薪を割り、朝食の準備だったのですが、薪が朝露で湿っていてなかなか火がつかない！それでも何とか火を起こすことができて、ごはんとみそ汁をいただきました。夜は20:30から久万高原天文台にて星の観察だったけど、雲がかかり断念。次回木曜日に再チャレンジ！



ハンモックも付けてみました。

■3日目：7月29日（水）

3日目は仕七川小学校裏で川遊びを楽しみました。プールの授業でも使っている川だけあって、広くて水量があって流れが穏やかでした。川遊びの後は古岩屋温泉でのんびりお風呂を楽しんで、帰ってから再び夕食作り。この日はピーマンの肉詰めを作りました。

■4日目：7月30日（木）

朝10時から皿ヶ峰登山。畠野川登山口から山を登り、竜神平へ。帰りは風穴へ下山し、涼しい風に癒されました。山の上で伊予農業高校の生徒さんと予定外の合流。下山後は山で収穫したイナゴを料理し、みんなでいただきました。夜は再び久万高原天文台へ。満月の前の日で晴れていたので、月の表面や土星などを見る事ができました。宇宙を飛んでいる宇宙船も2分ぐらい肉眼で観測成功！

■5日目：7月31日（金）

子どもたちの熱い要望により再び仕七川へ。今回のキャンプの最後の夜は、残った薪を使ってキャンプファイヤーと花火。ニッキーがギターを演奏し、子どもたちがキャンプ中に作ったネタをどんどん披露。歌と踊り盛りだくさんのステキな最後の夜となりました。

あとがき

昨年は久万高原町畠野川にある「千本高原キャンプ場」で5泊6日を過ごしました。毎日薪を割り、朝日晚とみんなでご飯を作り、仲間と一緒にテントで寝て、川遊び、山登りを満喫し、子どもたちが自発的に行動を起こし、仲間と協力しながら無事に過ごすことができました。また多くの久万高原町の方々にも協力していただきました。今年のキャンプも自然体験だけでなく、人との出会いを大切にしながら進めていきます。

自分の街でプレーパーク開催しませんか？

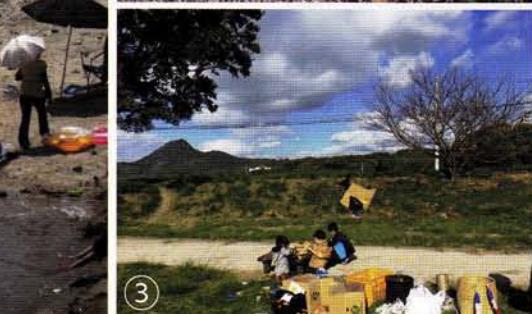
昨年は北条、中島、新居浜でプレーパーク開催に協力しました。



①



②



③



④

①かしまプレーパークの飛び込みブランコ
②北条プレーパークの川の中で自生していたサトイモ収穫



⑤

③～⑤北条プレーパークの様子

「自分の地域にもプレーパークがほしい!」と思う人たちの声に答えて、昨年は「かしまプレーパーク」「北条プレーパーク」「中島プレーパーク」「新居浜プレーパーク」開催に協力してきました。

プレーパークを始める前には、それぞれの地域に出向き、開催したい場所を視察し、参加対象者や、どんなことがしたいのかなどを聞いて、その地域やその人たちの想いに寄り添う形で事業を実施していきます。

全国に400か所以上プレーパークはありますが、活動内容は様々で、近くの公園で砂場道具と段ボールだけ持っていても開催できるし、川のほとりでイカダでの川下りイベントをしたければ、それでも開催は可能です。その地域の人たちと子どもたちの想いと、それからその場所を貸していただける所有者の想い、そして開催した際の地域の人たちとの関わりがとても大切で、関わっ

てくださった方が子どもたちのすこやかな成長を願って協力していくプロセスにこそ意味があるのではないかと思っています。

子どもが喜ぶからと言って、無理をして最初からスリル満点な遊具を作り、施設も充実させても、その後の片づけや、準備段階が大変となり、関わってくださった方の目的意識が趣旨とズレてしまうこともあります。まずイベントとしないこと。子どもと地域の関わりは6年サイクルだと思っています。

今、自分たちができる話を話し合い、できる範囲で実施する。もし、夢を大きく持つのであれば、5年後、10年度の地域の子どもたちの様子をイメージしながら仲間を増やし、企画を練り、1歩づつ実践につなげていく。結局はその繰り返しだろうと思います。

プレーパーク活動を支援・応援しています！！

特定非営利活動法人 日本冒険遊び場づくり協会は、講師を派遣したり、情報を発信したりして全国のプレーパーク作りを応援しています。今年の11月には仙台で全国集会が行われ、全国から活動家が集結します。興味のある人はHPを検索してみてくださいね！

日本冒険遊び場づくり協会HP <http://bouken-asobiba.org/>

日本冒険遊び場づくり協会 [検索](#)



⑥～⑧中島プレーパークの様子
⑨かしまプレーパークのそばめん流し



⑩中島プレーパークで旗を作った時の様子

ボランティアだらうと、企業だらうと、結局は地道な作業の繰り返しと感謝の心がなにより大切なだと感じています。

「これからプレーパークを地域でやってみたい！」と思う方がいましたらぜひ連絡ください。

全てに協力はできないかもしれません、出会いを大切に日々前に進もうと思っています。

連絡お待ちしております(^O^)／



今後の出張プレーパークの予定

◎かしまプレーパーク

日時：7月17日(日) 10:00～

場所：松山市北条に浮かぶ鹿島

内容：飛び込みブランコ、いかだ作り
竹のプール、出張駄菓子屋など

◎北条プレーパーク

日時：8月20日(土) 14:00～

場所：松山市北条にある立岩川水辺公園

内容：川遊びなど

◎中島プレーパーク

開催日はHPを参照ください。

<http://nakajimaplaypark.jimdo.com/>

山を楽しむ人倍増アンケートの集計報告

松山総合公園プレーパークに隣接する竹林の整備を行っている「もりのわ」が平成27年度に愛媛県森林環境税を利用して実施した、「山を楽しむ人倍増アンケート」の集計結果をまとめました。

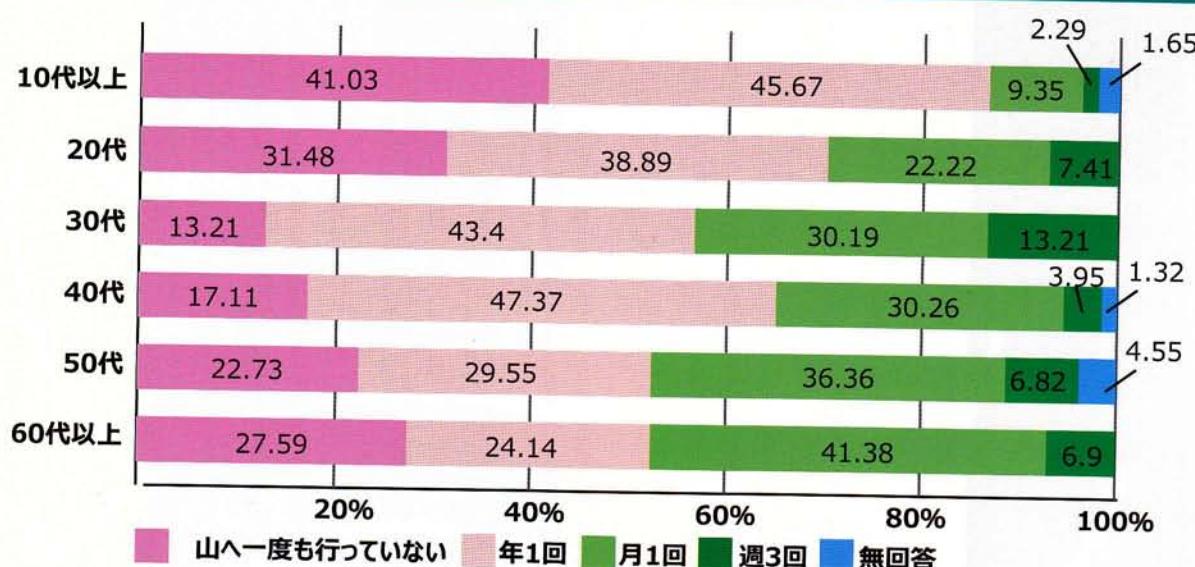
山を楽しむ人倍増のアイデアは1000人以上の方から情報をいただきました。本当にありがとうございました。今回の冊子では概要のみを載せています。詳しい内容を知りたい方はもりのわHPから確認ください。

■もりのわHP <http://morinowa.net/>

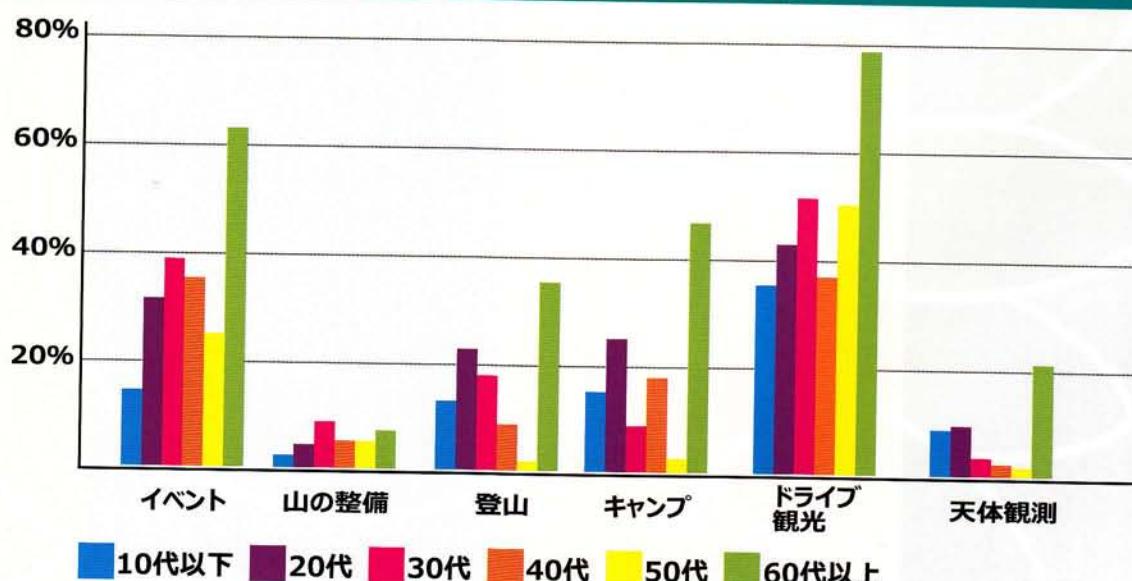
■アンケート調査方法について

- インターネットでアンケートを募集、松山市内の公民館等にはチラシ配達便にて発送、関わりのあるNPO団体や個人には郵送、学校等にはチラシを直接持つて配布しました。
- 調査期間：平成28年2月1日～平成28年2月29日
- チラシ配布総数/回収枚数：15,000枚/1,828枚
- 回収率：12.19%
- 年代別比率：10代以下86.0%、20代2.95%、30代2.9%、40代4.16%、50代2.41%、60代以上1.59%

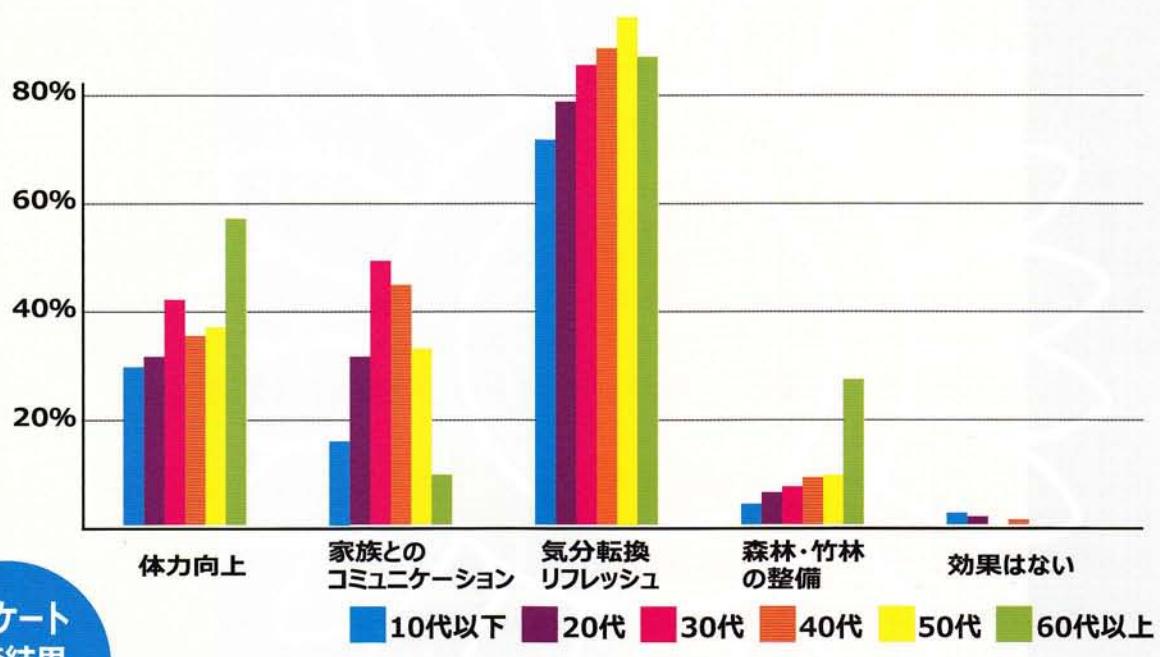
■この1年で何回ぐらい山へ出かけましたか？(年代別)



■山へ行く目的はどんな場合が多いですか？(年代別) (複数回答)



■山へ出かけると、どのような効果があると思いますか？(年代別) (複数回答)



アンケート
調査結果
の概要

子どもの86.7%は1年間ほとんど山に行かない。

全年代の約82.77%が1年間山へほとんど行ていなかった。10代以下の子どもたちの中で1年間ほとんど山へ行かない割合は86.7%と一番多かった。

山へ行く効果で一番多かったのは「気分転換・リフレッシュ」。

全年代の約83.97%が山へ行く効果として「気分転換・リフレッシュ」を選択している。特に多かったのは50代で93.18%だった。10代以下でも73.28%が「気分転換・リフレッシュ」の効果があると答えている。

山へ行かなくても山へ行く効果は感じている。

山にほとんど行かない子どもたちの中で「効果がない」と答えたのは2.86%だった。行かなくてもほとんどの子どもたちの潜在的な意識の中では効果があると理解していることが伺えた。

山へ行く目的の1位は「ドライブや観光など」。

全年代の約36.98%が山へ行く目的として「ドライブや観光など」を選択している。60代以上の場合は79.31%が山へ行く目的で「ドライブ・観光など」を選択している。

竹林・森林の整備に効果があると答えた人は少ない。

全年代の約3.88%が山の整備を目的と選択している。そして山と関わる効果として「森林・竹林の整備」と答えた人は約4.60%だった。山の整備に関わっている人以外で森林・竹林の整備に効果があると答えた人は少なかった。

山へ行く回数が多い人はいろいろな人と関わっている。

10代以下の子どもたちの中で山に月1回又は週3回程度行く子は、祖父母の家やお墓参りに行く目的の子どもが多く、又川遊びやバーベキューなどいろいろな人と関わる行事によく参加していることがわかる。

久万高原天体観測館に行く人が少ない。

アイデア集の中には「満天の星が見える場所でのんびりしたい」というような意見が多くいたが、全年代で天体観測を目的として山へ行く人は約7.55%と少なかった。愛媛には四国最大級、口径60cm、肉眼の七千倍も集光力を持つ反射望遠鏡のある久万高原天体観測館があり、愛媛県内には満天の星が見える所もたくさんあるのに、出かける人は少ない。行きたいという気持ちはあるけれど、行けない又は行かない理由があると推測する。

ツリーハウスを作つてハンモックで寝て、のんびりしたい。

山を楽しむ人倍増アイデア集の中で一番多かった意見がツリーハウスを作ることと、ハンモックで寝ることだった。
森の中の自分だけの居場所がほしいという人も多かった。

平成28年度の会員募集について

NPO法人みんなダイスキ松山冒険遊び場は、子どもたちが自然の中で地域の人に見守られながらのびのびと育っていく冒険遊び場(プレーパーク)を増やすとともに、今年度は下記の活動を推進していきます。

1.松山総合公園プレーパーク

年間通した継続的な運営維持を行い、週5日の常設プレーパークを目指します。

2.出張プレーパーク

愛媛県でプレーパーク活動を広めます。

3.子どもの居場所事業

三津の駄菓子屋を拠点として、生きづらさを抱えた子どもたちの支援を行っていきます。

4.久万高原サマーキャンプ2016

5泊6日、自炊型自然体験キャンプを実施します。

5.森のようちえん

乳幼児期の自然体験の重要性と保育の質の向上を目指して事業を実践していきます。

6.東日本復興支援

「福みかん」として、福島へ愛媛のみかんを送り交流を続けながら復興を願っていきます。

■活動の趣旨に賛同し、参加し、支えるために下記の会員を募集します。

※2016年3月法人化にともない改定

・正会員（NPO法上の「社員」で、総会の議決権があります）

個人 年会費 5,000円

・賛助会員

個人 年会費 3,000円

団体 年会費 5,000円

※会員年度は4月から翌年3月までの1年間とします。

※会員には年2回発行する遊び場通信を個人1部、団体3部お送りします。

<入会申し込み方法>

お名前、住所、連絡先、メールアドレス、会員の種類をメール又はHP内の会員申込フォーム

よりお知らせください。併せて会費を以下の郵便振替口座もしくは銀行口座にご入金ください。

ご入金確認後、会員登録をさせて頂きます。

- ・郵便振替 口座番号：01680-6-133034
NPO法人みんなダイスキ松山冒険遊び場
- ・伊予銀行 三津浜支店 普通 1986228
NPO法人みんなダイスキ松山冒険遊び場
トクヒ) ミンナダイスキマツヤマボウケンアソビバ
- ・ジャパンネット銀行 店番号 005 口座番号 1196056
NPO法人みんなダイスキ松山冒険遊び場



■松山総合公園プレーパーク案内地図

交通アクセス

◎市内バスの場合

(10番線津田団地行)

松山総合公園前下車バス停を超えて、丸山バス停下車 徒歩10分で考古館

◎乗用車の場合

国道196号線から公園東入口より入場し、第1、第2、第3駐車場を超えて、また山を下ります。

突き当りにある第4駐車場に車を駐車して、池の横の歩道を歩いて行くと考古館に着きます。

考古館を超えてまっすぐ登っていくと、文化財情報館が右側に見え、そのまま道沿いに歩くと山を登る階段があります。この階段(約200段)を登ると、松山総合公園プレーパークにたどり着きます。

※考古館の駐車場と、考古館に向かう道と、階段の登り口辺りに看板を設置しています。



■編集後記

過疎化が進み、少子高齢化が進む中、愛媛県内でも地域創生のための事業が活発である。「サイクリストの聖地」として世界にアピールしていたり、愛媛のみかんをブランド化したり、「みかんソムリエ」という資格を作っていたりと活発な動きを感じる。

愛媛でのこうした活動家は意外にも県外出身者又はUターンした人たちが多いことに気が付いた。

なぜなのか？ 活動を続けてきて県外出身者の私が地元の人と話す中で感じることは、「愛媛の魅力は愛媛

の外から客観的な目で見ないとわからない部分がある。」ということだった。豊かな自然、山、海、島、川、鳥、虫…。地元の人が当たり前と思うものが、県外から来ると「魅力的で豊かな資源」と映る。どうしてこの資源を有効利用しないのか不思議でならなかった。

そして現在、プレーパークという形で資源を有効利用させてもらっているが、まだまだ愛媛には可能性があると感じている。これからも未来を担う若者を支援し、彼らが愛媛を盛り上げてくれると信じている。

NPO法人みんなダイスキ松山冒険遊び場

〒791-8056 松山市別府町734-9

電話 090-1575-6275

FAX 089-952-9541

メール tomo_taku2009@yahoo.co.jp

HP <http://asobiba-matuyama.org/>

発行 平成28年6月7日発行

